

## 電波システム海外展開推進会議（第3回）議事概要

### 1. 日時

平成29年7月18日(火) 14:00～14:45

### 2. 場所

総務省7階省議室

### 3. 出席者

#### (1) 構成員

綱川構成員（(株) 東芝）、高田構成員代理（日本電気（株）：遠藤構成員の代理）、荒構成員（日本無線（株））、伊藤構成員代理（(株) 日立国際電気：佐久間構成員の代理）、山西構成員（三菱電機（株））

#### (2) 総務省

高市総務大臣、あかま総務副大臣、太田総務大臣補佐官、鈴木総務審議官、渡辺総合通信基盤局長、今林情報通信国際戦略局長、竹内総合通信基盤局電波部長

### 4. 議事模様

#### (1) 総務大臣挨拶

高市総務大臣より冒頭挨拶が行われた。

#### (2) 「電波システム海外展開アクションプラン」について

事務局より「電波システム海外展開アクションプラン」について説明が行われた。また、電波システムの海外向けPR動画の試作版の上映が行われた。

#### (3) 意見交換

各構成員より今後の海外展開に向けての取組について説明が行われ、その後、意見交換が行われた。

出された主な意見は次のとおり。

- 国際セミナーでは、アジアの政府高官の招聘の結果、直接商談を進めることができた。
- 官民連携によるセミナーは海外展開にとって非常に有益な施策と実感。引き続き各国関連省庁への橋渡しなどの総合的な支援をお願いし

たい。

- 国際セミナーでの来訪者との意見交換では、東南アジアで災害状況把握について関心が高いことが分かった。
- 東南アジア各国に、津波監視のための海洋レーダーの必要性を十分に理解してもらうことが重要。
- 日本のシステムは海外に持っていくには高級すぎる面があるため、簡易版・縮小版の研究開発が有効。
- PR動画は、電波監視の重要性が理解しやすいなど素晴らしいものであり、是非活用してほしい。
- 電波監視関連では、5月の海外セミナーを通じて、各国との共同監視が実現に向かっていることを実感した。
- 電波システムの海外展開においては、各国に認知していただく上で、ITU等の国際標準化及び実証試験が重要。
- 機材の展開はできても、相手国側でオペレーションできる人材がいな  
いという問題があると聞く。機材の展開とともに、運用の支援及び人  
材の育成を組み合わせると相手に提供できれば、日本の強みになる。

これを踏まえ、高市総務大臣、あかま総務副大臣、太田総務大臣補佐官からコメントが述べられた。

#### (4) その他

事務局より、今後は、海外展開の進捗などを踏まえて、必要に応じて本会議を開催予定である旨連絡が行われた。